DNAアレイを活用したトマト果実形質の育種選抜技術の開発

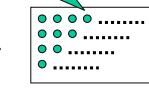
・DNAアレイの作製



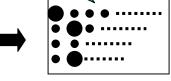
果実で働く遺伝子を抽出

ひとつの点がひとつの遺伝子にあたる。

それぞれの遺伝子の働きの強さがわかる。

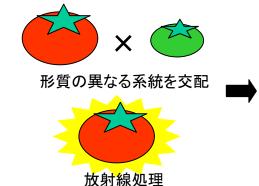


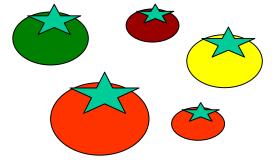
果実で働く数千種の遺伝子を 配置したDNAアレイを作製

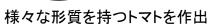


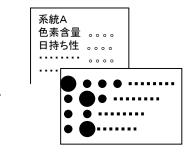
アレイ解析:個々の遺伝子の 働きを一度に解析

・育種材料の整備と形質評価



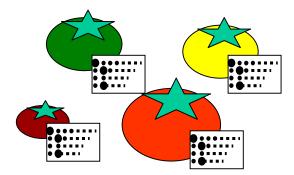




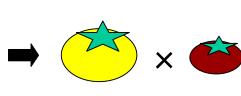


それぞれのトマトの形質評価と遺伝子発現解析の結果を比較

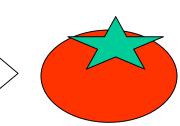
・遺伝子発現解析を利用した選抜



アレイを用い、外見だけでは分からない 遺伝子の働きを解析







形質評価結果との比較から、遺伝子発現 レベルで有用な素質を持つ系統を選抜 交配の組合せにより、これまでに ない有望な系統の作出が期待される。